

# 第14回大阪城フォーラム

## (大阪婦人科悪性腫瘍研究会)

拝啓

時下、先生方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、この度『第14回大阪城フォーラム』を開催させて頂く運びとなりました。

今回は特別講演として愛媛大学大学院医学系研究科 産科婦人科学 准教授 松元 隆 先生をお招きし、ご講演を賜ります。先生におかれましては時節柄ご多忙とは存じますが、是非ともご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具

日時

平成30年6月22日(金) 19:00~20:30

場所

ホテルニューオータニ大阪 B1F プリムローズ  
大阪市中央区城見1-4-1 TEL:06-6941-1111  
参加費 ¥1,000-

Opening  
remarks

19:00~19:05

泉大津市立病院 事業管理者  
大阪市立大学大学院医学研究科 女性病態医学 名誉教授  
石河 修 先生

一般講演

19:05~19:30

座長：大阪市立大学大学院医学研究科 女性生涯医学  
教授 古山 将康 先生

『TC-Bev療法のNACにてpathological CRが得られた  
子宮頸がん T1B2N1M1? の1例』

大阪市立総合医療センター 婦人科 井上 基 先生

『当科におけるBevacizumab Beyond Progressionの経験』

大阪市立大学大学院医学研究科 女性病態医学 山内 真 先生

特別講演

19:30~20:30

座長：大阪市立大学大学院医学研究科 女性病態医学  
教授 角 俊幸 先生

『アバスチンの登場で変わった婦人科がん治療  
~私が、TC+アバスチンを選択する訳~』

愛媛大学大学院医学系研究科 産科婦人科学  
准教授 松元 隆 先生

※ 会終了後、情報交換の場を設けております  
共 催：大阪婦人科悪性腫瘍研究会・中外製薬株式会社